



みどりの里

宇奈月小学校だより

6月号・第3号

令和6年6月17日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいかからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1

URL <http://www.tym.e.ed.jp/>

TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

宇奈月の魅力再発見!!

～鉾ヶ岳歩行会より～

校長 齊 木 裕

宇奈月小学校には、56年間も続いている伝統的な行事の「鉾ヶ岳歩行会」があります。鉾ヶ岳歩行会は、旧下立小学校から今の宇奈月小学校へと引き継がれています。鉾ヶ岳は、標高861Mで「富山の百山」にも選ばれています。こんな素敵な山が宇奈月小学校の校区にあることが、学校の自慢です。毎年6月に6年生が行うこの行事には、引率だけでなく、たくさんの方々が関わってくださっています。

鉾ヶ岳事前踏査(6/2)

下立地区の方13名、6年生保護者2名が登山道の整備、嘉例沢森林公園の草刈りをしてくださいました。子供たちが登山道で迷わないように木の枝を払ったり、タフロープを印として木の枝に付けたりしました。

下立産の大理石の説明

登山当日、地元の滝川修さんに下立の大理石について詳しく説明していただきました。下立の大理石は、とても美しく「オニックスマーブル」と呼ばれ、国会議事堂にも使われていることを教わりました。また宇奈月小学校の多目的ホールや開放玄関の壁一面が、「オニックスマーブル」で覆われています。

なめこの味噌汁と山菜の天ぷらの提供

鉾ヶ岳の登山道まで歩くと、嘉例沢森林公園があります。下立の方々が、なめこの味噌汁と山菜の天ぷらを提供してくださいました。なめこは、子供たちが植菌をして育てたもので、おかわりをしてたくさん食べていました。

山頂の景色

昼食後、登山口から鉾ヶ岳の頂上を目指しました。子供たちは、「ここに大きな岩があるぞ。気を付けて。」「もう少しだ。がんばろう。」など、声をかけ合いながら、楽しく登りました。頂上から見る景色は、絶景で、扇状地の向こうに富山湾、その向こうに氷見の山々が見えました。反対方向には、宇奈月温泉街が見えました。

この行事を通して、子供たちは、宇奈月って本当に素晴らしいところだな、こんな素晴らしいところに住んでいて幸せだなと、改めて宇奈月の魅力を感じているようでした。6年生の保護者の皆様、下立地区の皆様、子供たちのために本当にありがとうございました。



下立大理石の説明



昼食(なめこの味噌汁と山菜の天ぷら)



頂上を目指して

わんぱく相撲に向けて朝練習（5/21～5/31）



鶏野神社において、わんぱく相撲名水場所に出場する7名の子供たちが、宇奈月相撲協会の方々から相撲の指導を受けました。四股の踏み方やすり足の仕方を丁寧に教えてもらいました。わんぱく

相撲名水場所では、全員が入賞しました。指導してくださった皆様、ありがとうございました。



美術館出前授業（フィンガーアート6/7）

黒部市美術館の職員をお招きし、3年生がフィンガーアートに挑戦しました。各自が家から持参した野菜を見ながら、筆を使わず指で野菜を描きました。子供たちは、絵の具の混色を工夫しながら、自分の思いを表現し、とてもすてきな作品に仕上げていました。

遠足に行きました（1～4年）5/30



1、2年生はファミリーパークへ、3、4年生は富山市科学博物館と富山県総合運動公園へ行きました。天候にも恵まれ、思い切り活動することができました。

クラブ活動が始まりました(5/16)

4年生～6年生のクラブ活動が始まりました。「スポーツ」「ラケットスポーツ」「一輪車」「レクリエーション」「折り紙・クラフト」「茶道」「編み物」「サイエンス」「パズル」の8つに分かれて活動を楽しんでいます。「茶道」「編み物」は、地域の方に外部講師として入っていただいています。

花とみどりの少年団活動が始まりました

花とみどりの少年団は、子供たちが「緑に親しみ」「緑を守り育てる」活動を通じて、心豊かな人に育っていくことを目的として、38年前に結成されました。5年生26名が、1年間活動をしていきます。

花とみどりの少年団結団式（5／8）

令和6年度の宇奈月花とみどりの少年団の結団式が行われました。青少年健全育成黒部市民会議下立支部の長谷川さんと森下さんをお迎えし、団長の野田貫太さんが誓いの言葉を述べました。その後、森下さんより「森の働き」について講演をしていただきました。子供たちは、「緑に親しみ」「緑を守り育てる」活動への意欲を高めることができました。

イワナの放流体験（5／14）

イワナの放流体験活動がありました。目的は、放流活動を行うことで、地域の自然環境に触れ、環境のよさに気付くことです。舟子川上流の自然散策では、ヨシナやヨモギ等の山菜を見付けていました。イワナの放流体験では、バケツに入っていたまだ小さいイワナを手づかみし、およそ400匹を舟子川へ放流しました。子供たちは最初はイワナをなかなかつかむことができず、戸惑っていましたが、最後には慣れた手つきでイワナをつかんでいました。下立地区の豊かな自然に触れるよい経験となりました。

とやま森の祭典2024（5／19）

魚津市桃山運動公園で、「とやま森の祭典2024」が開催されました。県内から花とみどりの少年団が一同に集まり、イベントが行われました。本校5年生8名が参加し、環境を考えるイベントに積極的に参加していました。



資源回収のご協力ありがとうございました(6/8～6/9)

今年度の1回目の資源回収がありました。PTA執行部、厚生委員会、保護者の皆様、地域の皆様、回収にご尽力いただきまして、ありがとうございました。子供たちがたくさん手伝っている姿も見れ、頼もしく思いました。



下立地区

浦山地区

愛本地区

内山地区

《第1回学校運営協議会を開催しました》

【令和6年度の学校運営協議会の皆様】会長・副会長以外は50音順

	氏 名	所属団体・役職名等
会長	竹山 繁夫	内山自治振興会長・内山安全パトロール隊長
副会長	森下 泰行	宇奈月小学校後援会副会長・青少年育成黒部市民会議下立支部
	大橋 朋子	人権擁護委員
	岡田 千春	浦山公民館主事
	岡田 常男	浦山自治振興会長・浦山安全パトロール隊長
	河田 稔	宇奈月温泉自治振興会長・宇奈月温泉安全パトロール隊長
	坂本 久享	宇奈月小学校 PTA 会長
	佐々木 俊一	音澤自治振興会長
	中 佳美	放課後児童クラブ指導者代表
	橋口 健児	愛本自治振興会長
	百石 富士雄	児童民生委員・主任児童委員
	齋木 裕	宇奈月小学校長

6月14日(金)、第1回学校運営協議会を開催しました。学校からは学校運営について、地域に協力していただいている行事・お願いしたい学習の場面、学校運営協議会の年間計画を提案し、承認してもらいました。委員の皆様から学校運営について様々なご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。



(学校運営協議会の皆様のご意見)

○地域の方に協力いただいている行事・お願いしたい学習の場面

森下：高齢者との触れ合いとは？

校長：福祉教育であり、高齢者や幼児との関わりである。コロナ前は、おらハウスや保育所へ行き、交流をしていた。今は可能かどうか。

森下：難しい。100%ではない。ただし、保育園児の芋植えを（高齢者が）眺めるのはやっていた。直接関わらない形なら可かと思う。

校長：家庭科のミシンを使う学習についてはどうか。

中：ミシンは機械である（専門的な知識等が必要）。事前研修が必要である。安全管理の言葉かけならできるので協力したい。

竹山：指導者の選出も難しいが、声をかけて進めていただければよい。

○その他

坂本：放課後児童クラブ前の駐車場の白線について、PTA2名から連絡があった。

中：放課後児童クラブ前の駐車場の使用頻度はけっこうある。17時前後に40台ほど。

校長：けんけんぱの○印のペンキ塗りをしようと思っているので、併せて学校でやってみようと思っている。

市教委：まず学校でやってほしい。市で何かお手伝いできることがあれば言ってほしい。

校長：愛本の巣箱作りを愛本以外の地区に広げている。今の5年生が4年生のときに作った巣箱を各家庭や学校の木にかけた。

森下：材料費は自治会からでているのか。

橋口：公民館からでている。今回94回目であり、100回を目指している。以前は、PTAが中心になってやっていた。今は子供が減少し、継続が難しい。

百石：資源回収もPTA減で大変なのは？資源回収に地域が協力すればいい。

竹山：それは、地域で協力したいということである。

竹山：内山の資源回収は自宅前に出すことになっているのだが、公民館に持って行く人も多かったのが地域も協力していると思う。